

しんぶん  
**赤旗**

日刊 ●月 3497円  
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



# しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会  
発行責任者 木村 文次

## くらし・命・平和が一番の政治に変えよう

参議院千葉選挙区予定候補の白石ちよです。私はシングルマザーでした。非正規雇用でダブルワークをしながら子育てをしてきました。職場で女性差別を目的の当たりし、どんなに働いても生活は良くなりません、それでも家族のためにと頑張ってきました。子どもたちが夢をあきらめなくていいように、お金の心配なく学べる社会を作りたい。低賃金の非正規雇用で労働者を使い捨てのよう



に扱う政治を変えたい。そのためには、皆さんと一緒に政治を変えるため立候補を決意しました。



参議院千葉選挙区予定候補 白石ちよ

昨年、総選挙では、裏金問題で「しんぶん赤旗」のスクープと日本共産党の追及で衆議院で自公過半数割れとなり政治を大きく動かすことができま

今、物価高騰で生活が厳しくなる中、自民公明政権は防衛費に補正予算を合わせ過去最高の約9兆円もの多額の予算を付ける一方で、賃金の引き上げや医療・介護・教育など暮らしの問題は後回しにされています。裏金の問題に反省もなく、国民の暮らしの実態に背を向ける政治に未来はありません。

暮らしの問題は後回し

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



ともに頑張らにやー

平和が一番の政治に変えましょう。皆様のご支援を心からお願ひいたします。共に頑張らましょう。

今年、7月に参議院選挙が行われます。日本共産党の5人の比例候補全員当選とともに、定数3で自民党議員が2人も出ているこの千葉選挙区から、何としても日本共産党の議席を獲得し、参議院でも自公過半数割れを実現させるため、全力を尽くす決意です。日本共産党が大きくなってこそ政治が変わります。

何としても日本共産党の議席を

2月23日、アビスタ和室にて、岩井・船橋両議員を招いて、新春懇談会が開催されました。岩井議員は、児童・生徒の登下校の見守りはボランティア（無償）として本人の都合で参加して頂いているとの市の答弁に、見守りをする方全員に手当が必要であること、路線バスやあびバスの値上げ・減便・廃線計画について、市としての、市民の足を確保する必要性が弱い状況を報告。船橋議員は、少年野球場の浄水器設置について、利用頻度が少なく工事費が高額で難しいとの市の答弁に、利用者が少なくても健康への影響は同じであることを指摘。アビスタでの階段再転落事故では、費用を理由に消極的な市の対応に、事故の重大さがわかってないと批判。両議員は、安全安心な街づくりに対する市側の消極性を批判しました。続く参加者からの質疑

議会だよりで継続審査の「政党機関紙の庁舎内勧誘が庁舎管理規約の禁止行為であることの確認を求める陳情」については、従来から行われていることで市側も承知している。陳情自体がおかしと批判がありました。今年「お花見」の代わりに、来月に市政を語る会を開催予定です。皆さんの参加をお待ちしています。



新春懇談会が開催されました

日本の食料自給率は38%。飼料の輸入はほぼ100%のため、それを加味すると22%。種を含むと10%を下回るそうだ。50年前の農業予算が1兆円で、今は2.2兆円。軍事予算は5千億円だったものが、今や8.7兆円。米国は消費者が4千円で米を買う時、コメ農家には8千円の補助金で、1万2千円が入る仕組み。税金投入は1兆円。一方、日本はアメリカ言いなりで、食料は輸入という農政。農業生産額第4位の千葉県でも自給率は24%。東京にいたっては0.4%。ロシア・ウクライナ戦争の影響で、金を出せば食料が輸入出来る時代ではなくなってきた。令和のコメ騒動も米を作らせない農政の問題。学術誌「ネイチャー・フード」によると、地域的な核戦争が起きたら2年後、「核の冬」による食料生産の減少と物流停止で、世界の餓死者の3割が日本に集中し、日本人の6割が「なくなる」とのこと。食料は武器であり、標的は日本。これが米国の食料戦略。我々はいつまで米国言いなりなのか。武器の爆買いではなく、日本の食料・農業を守る食料安保こそ日本を守る道ではないのか！

オオバン

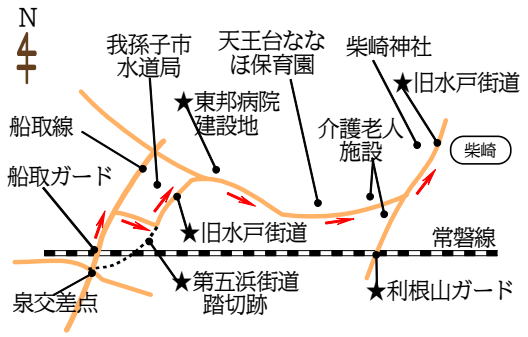
オオバン



# 我孫子古道巡り 追分から柴崎を巡る②

現在の国道が番号制になる前の明治初期の頃、この辺りは「陸前浜街道」と名づけられ、地元の人は今でもこの街道を「浜街道」と呼んでいます。

水道局の東側には旧水戸街道が残っています。



今回は、船取線の泉交差点から出発します。

船取線を北に向かい「船取ガード」をくぐり、東の「水道局」の裏側の丘に至る小道を上ります。



踏切跡から車両センターを望む

この辺りには昔「第五浜街道踏切」がありました。昭和46年に完成した常磐線の複々線化により廃止され、旧水戸街道は分断されました。その後昭和54年に船取線が開通しました。



東邦病院建設地

突き当りに工事中の大きな建物があります。看板を見ると、ここに東邦病院が移転するようで、4階建ての病院が8月末に完成の予定です。すぐ東には薬局の用地が準備されています。



水道局東側に残る旧水戸街道



利根山ガード

街道を東に向かうと北側に「天王台ななほ保育園」と、介護老人施設が建設されてこの辺りの景色が大きく変わっていました。

街道が北に折れる常磐線側には、以前「利根山踏切」がありました。ここも複々線化で廃止され「利根山ガード」となりました。



旧水戸街道の風情を残す景色

やがて柴崎神社前で、昔の風情を残す景色となります。(采 関口)

参考文献「我孫子の地名と歴史」

## しらかば文芸欄 30 随筆・白山 N



### 気になるカラス

我が家の前の木に遊びにくる、可愛い鳴き声を聞かせてくれる小鳥たちに、日々癒されます。

ある日、木の上にかラスを発見しました。木の枝を渡り歩き、折りやすい細い小枝を選んで、口ばしでポキポキと折り、下に落としていきます。6・7本でしょうか。カラスの枝落としは威嚇であると聞きましたら教えて下さい。

いたことがあったので、最初は威嚇かと思いましたが、特に威嚇している様子はなく(周りに他のカラスや人間、動物など何もない)鳴くこともありませんでした。枝に食べられる実がついているといってもなく、ただのんびり枝をポキポキと折っています。いたずらや遊びだったのでしょうか。もし、この枝落としをご存じの方がいらっしゃいましたら教えてください。



## 常磐線あれこれ 49

2007年3月18日に実施されたダイヤ改正で、常磐線中距離電車は全てグリーン車2両を連結したE531系に統一されました。

E531系の投入は国鉄時代に登場した、既に老朽化が進んでいた415系の置き換えが目的でしたので、当初は、E501系は置き換える対象ではありませんでした。

しかしE501系は最高速度が130kmに満たないこと(120km)。またグリーン車とトイレがないことから、E531系と共存することはダイヤ設定において効率が悪いので、常磐

線の上野ー土浦間の運用から撤退。編成を短くして、活躍の場所を常磐線土浦以北と水戸線に移しました。



E501系 (水戸線)

同時にトイレを設置して、評判の悪かったトイレなしを解消。またメンテナンス向上とコスト削減から、ドイツ製の制御装置は国産品に順次交換されて、E50



「三色すみれ」 若松・高橋祥子

1系の特徴でもあった「ドレミファインバータ」は聞けなくなりました。

E501系は1995年

(緑 竹内)

12月の登場からわずか11年程で第一線から退きました。

沿線自治体から通勤電車の運転区間延長ニーズに応える形で登場したE501系。しかし、つくばエクスプレス開業でJRが「対つくばエクスプレス」に方針転換したことで、E531系に主役の座を奪われたE501系は、本来持っている力を発揮できずに地方へと追われたのです。

それは企業の都合で左遷された「悲劇のサラリーマン」のごとく、「悲劇の車両」とも言えるものです。